

運営 4-1

第 19 回定期講演会計画 ●：今回の検討項目

1. プログラム(素案)

| 高温ガス炉プラント研究会 第 19 回定期講演会 | | |
|--------------------------|--|----|
| 講演会テーマ | ● | |
| 日 時 | 2025 年 1 月 20 日(月) 13:30~17:00(開場 13:15) | |
| 場 所 | 東京大学山上会館 大会議室 | |
| 主 催 | 高温ガス炉プラント研究会、東京大学 (共催) | |
| 後 援 | 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 (申請予定) | |
| 定 員 | 100 名 | |
| 項 目 | 講演者候補/講演内容 (仮題) | 分 |
| 開会 | 司会：持丸会員 (東芝 ESS) | 5 |
| 開会挨拶 | 岡本会長 | 5 |
| ① 来賓講演 | 経済産業省資源エネルギー庁：● | 15 |
| ② 来賓講演 | 文部科学省：● | 15 |
| ③ 講演 1 | JAEA/ 高温ガス炉に関する国際連携の状況 | 20 |
| ④ 講演 2-1、2-2 | JAEA・三菱重工業/日本の実証炉開発への取組 | 40 |
| 休 憩 | | 10 |
| ⑤ 講演 3 | 都筑 TA/高温ガス炉に関する国内外動向調査 | 20 |
| ⑥ 講演 4-1, 4-2, 4-3 | 九大：藤本先生、福井大：後藤先生、東科大：加藤先生 大学における高温ガス炉研究開発 ● | 60 |
| 総括討議/閉会 | 岡本会長/我が国の高温ガス炉開発のあり方 | 20 |

計 210 分、講演順・時間配分は仮

<定期講演会テーマ履歴>

| 回 | テーマ | 副題 |
|--------|-----------------------|--------------------------------|
| 第 19 回 | ● | (なし) |
| 第 18 回 | 世界に羽ばたく日本の高温ガス炉技術 | (なし) |
| 第 17 回 | エネルギー安全保障における高温ガス炉の役割 | (なし) |
| 第 16 回 | 脱炭素社会に向けて | 高温ガス炉の開発動向 |
| 第 15 回 | 国内外における高温ガス炉開発の進展 | 2050 年カーボンニュートラルに向けて |
| 第 14 回 | 高温ガス炉の新たな展開に向けて | 原子力イノベーションとしての取組や再生可能エネルギーとの共生 |
| 第 13 回 | 高温ガス炉の国際展開 | (なし) |
| 第 12 回 | 高温ガス炉の多目的利用 | (なし) |

2. 講演 4 について ●

(1) 九州大学/藤本先生

参加する方向。テーマ未定、オンラインの可能性大。(*)

(2) 福井大/後藤先生・石垣先生

参加する。テーマ未定、オンラインの可能性あり。(*)

(3) 東科大/加藤先生

「グリーン・トランスフォーメーションへの HTGR の貢献」

【要旨】

産業のカーボンニュートラル化においては一次エネルギーのゼロカーボンエネルギー化によるグリーン・トランスフォーメーション(GX)が必要である。日本のエネルギー構成は概ね電力 100 GW、非電力 300GW であり、再生可能エネルギーの主電源化だけでは足りず、ゼロカーボンエネルギー全ての活用が必要である。特に産業の GX 化には安定で高品質の電力、熱の需要がいよいよ高まると予想される。このローカルな安定電源として HTGR の貢献性は高い。本講演では産業 GX への HTGR 応用の可能性と今後の展開を俯瞰する。

(*) リモート講演担当 (●)

講演用 PC と別の PC で事前に先生方と接続し、出番で HDMI を接続替え。

3. 懇親会 (予約済)

- ・講演会終了後、山上会館 1F 談話ホールにて実施。
- ・会費¥5,000 (原価¥6,600、講演者無料)、参加想定 30 人

4. 今後のスケジュール

(1) 第 5 回運営会議 11 月 11 日 (月) オンライン

- ・議事 国内外動向調査報告(*)
- 第 19 回定期講演会準備状況 他

(2) 第 6 回運営会議 12 月 17 日 (火) オンライン

- ・議事 国内外動向調査報告(*)
- 第 19 回定期講演会最終確認

(*) 原子力学会秋の大会/9 月、HTR2024 北京/10 月 につき適宜報告

(3) 第 19 回定期講演会 2025 年 1 月 20 日 (月) 午後

(4) 第 7 回運営会議 (最終) 2025 年 2~3 月頃

— 以上 —